

第1回マチごとゼロカーボン市民会議 概略

- 日 時 2022年8月21日(日) 13:00~17:00
- 場 所 所沢市役所 市庁舎高層棟8階大会議室(専門家・江守氏はオンライン参加)
- 出席者 参加市民:40名(欠席9名/早退1名)
専門家 :江守正多氏(国立環境研究所)、小出瑠氏(同)
司 会(全体ファシリテーター):平塚基志氏(早稲田大学)
グループファシリテーター :所沢市職員
グループサブファシリテーター :早稲田大学学生

■実施概要

- 藤本市長の開会挨拶の後、所沢市より市民会議の趣旨説明があった。
- 続いてグループ内で相互に他己紹介を行った後、参加者間の交流とグループワークの練習を兼ねて「所沢市の好きなおところ・魅力だと思うところ」をテーマに話し合った。
- その後、下記のとおり情報提供が行われた。
情報提供1「気候変動の現状と脱炭素の必要性」(江守正多氏)
一脱炭素の必要性や、その実現のために社会の大転換が起きる必要があることの説明。
情報提供2
「ゼロカーボンシティ実現に向けた所沢市の現状」(マチごとエコタウン推進課)
一市の政策、市内の二酸化炭素排出状況や取組の現状を説明。
情報提供3
「カーボンフットプリントからみた所沢市の脱炭素ライフスタイル」(小出瑠氏)
一消費活動と温室効果ガス排出の関係について、また市民にできる取組や地域での脱炭素アクションの普及に必要な考え方等の説明。
- 以上の情報提供を参考に、「ゼロカーボンを実現するために普段の生活で取り組んだ方がよいこと」をテーマとしたグループワークが行われた。①個人ワーク(各自がアイデアを付箋紙に書き出す)、②グループ内でシェア(付箋紙を模造紙に貼りながら共有する)、③アイデアの整理(質疑応答も交えながら似たようなアイデアをグルーピング)という手順で行い、最後に全体でグループ毎に発表、共有の時間が設けられた。
- その後、小出氏より発表に対し、「色々な側面が網羅されていた。個人単位での取り組みや普及啓発だけでなく、設備導入の促進やモノのシェアリングなど、社会システムを変えるという視点が入っていた」等の講評があった。

■次回以降のテーマ

- 発表内容をふまえて、司会の平塚氏より次回以降の会議で取り上げるテーマの案として以下6つの案が示された。

「太陽光発電等（再エネ）」 「省エネ家電・住宅（住まい）」 「公共交通機関の利用（移動）」 「消費・廃棄・農作物の工夫（消費・食・農）」 「カーシェア・ライドシェア（地域での連携）」 「その他/里山の利用・普及啓発等」

- 参加者からは特に追加や異論はなく、この案をふまえて次回以降のテーマを主催者側で整理して準備を進めることが了解された。

以上